

—あおぞら—

新任常任理事あいさつ(1)

—ACAPと新潟県—

公益社団法人大気環境学会 常任理事
大泉 毅

新任常任理事のリレー執筆の皮切りとして、新潟県保健環境科学研究所(以下、新潟保環研)の大泉がご挨拶させていただきます。大気環境学会には30年以上一般会員として登録していますが、深いおつきあいは2013年の第54回の新潟年会で実行委員長を務めたことです。当時の所属はアジア大気汚染研究センター(ACAP)でした。ここでは、私も深く関わってきた同センターと新潟県の関係についてご紹介したいと思います。

新潟県は1980年代前半に酸性雨調査を開始するにあたり、当時の県内全112市町村に降水捕集装置を配置し、一斉観測を実施しました。その結果から地域代表性を検討しながら選定した地点において長期観測を行い、新潟県の酸性沈着の特徴として、冬高夏低の季節変動、他地域と比較して大きな沈着量、それらの原因として越境汚染の寄与を明らかにしてきました。一方、国は1983年に開始した酸性雨対策調査の第一次調査報告において既に越境汚染の影響を示唆し、以後、国内外の専門家による検討を経て、1990年代後半には東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)構想を具体化し、その中核機関の設置に関し関係自治体と協議の結果、ネットワークセンターとして酸性雨研究センター(ADORC)を1998年4月に新潟保環研の一室に開設しました。新潟県が越境汚染に由来する酸性雨の影響を強く受けていること、また、酸性雨の観測・研究に対する地域の素地が多少なりとも評価されたものと理解しています。

その後、ADORCは新潟保環研に隣接した建物に移り、2010年6月にはACAPと改称され、2017年度に設立20年目を迎えます。新潟県は開設当時からACAPに建物および人的な支援を続けており、職員は新潟保環研から原則3年、最長5年の規定で派遣され、20年間に派遣した職員の延べ人数は59(人・年)に達します。私も2003-2006と2010-2014年度の合計9年間在籍し、モニタリング手法の整備や普及のため、国内外を忙しく動いておりました。ACAPのカウンターパートは国内は利尻島から沖縄本島まで、国外は北はロシアのバイカル湖沿岸のイルクーツクから南は赤道を越えてインドネシアのジャカルタまで、非常に広範な地域に住まう多様な国籍・言語の人々です。そこで経験する人的交流は、

新潟県職員の意識改革、また、語学力の向上に非常に役立っていると感じています。また、派遣以外でも、ACAPと新潟保環研は県内機関で構成する酸性雨研究連絡協議会、日程を合わせたオープンハウスの開催、セミナーの相互参加などを通じて交流を深めてきました。

酸性沈着については、一昨年に米国で開催のAcid Rain 2015の総括で、欧米ではSO₂やNO_xの排出量削減が顕著である一方で、アジアでは中国でSO₂が10年前、NO_xが数年前から削減が始まったが、インドを始め依然として増加している地域もあるとされています(D. A. Burns et al., 2016, Atmos. Environ., 146, 1-4.)。新潟県においては硫黄の沈着量は他地域に比べれば大きいものの、2000年代半ばをピークとして横ばいか減少傾向にあり、同時に観測している降水の硫黄同位体比の変動からも越境汚染の寄与の低下がみとれます。他方、2007年5月9日には光化学オキシダント注意報発令、2014年2月26日にはPM_{2.5}に係る注意喚起が新潟県で初めて実施され、両日は新潟県の大気環境観測において大きな意味をもつ日となりました。

ACAPは東アジア地域の酸性雨を中心とした高精度モニタリングデータの取得と評価を継続する一方で、酸性沈着から広域大気汚染への状況変化に対して、オゾンやPM_{2.5}は大陸間輸送を含む半球汚染問題であると認識し、これらも含めて東アジア地域の酸性雨・大気汚染のモニタリングと研究に関して中心的な役割を担っていきたくとしています(<http://www.acap.asia/acapjp/profile/index1.html>)。新潟県においてもACAPの変化する状況に適応した活動を引き続き支援していくことが重要と考えます。また、ACAPは大気汚染研究に特化した研究機関であり、現所長および前所長が共に歴代の大気環境学会長であるという、強力な求心力を有する機関として、今後とも、地域、国内および東アジアにおける大気環境研究の中核となっただきたいと思っています。併せて、大気環境学会の活動にも積極的な参加を期待しています。私は現在は新潟保環研でACAPへ職員を送り出す立場にありますが、微力ながら、今後とも、ACAPと新潟県の良好な関係の維持・継続に努めていきたいと考えております。